

www.goryokai.com

病院機能評価ver.6.0 受審を経験して

五稜会病院

田中倉一、中島公博、浮田志保、小林祥子
小田由美、中島里美、伊藤和代、鈴木由美子、千文雅徳

平成22年2月6日 第30回札幌市病院学会

www.goryokai.com

はじめに

- 五稜会病院は平成17年6月に財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価ver.4(精神科版)の認定病院となった。
- 病院機能評価は平成21年7月からver.6.0に移行され、新たな視点の評価項目の新設や既存項目の内容の見直しが行なわれた。(小項目数3割減)
- 当院では平成21年10月にver.6.0での更新審査を受けたので、その経験について報告する。

www.goryokai.com

ver.6.0 主な改定点

- ◆ 認定期間中の質の維持・改善に向けた努力を評価する項目を導入。
- ◆ 以下の新規追加項目
 - 地球環境への配慮
 - 継続的な医療サービスの質改善への取り組み (QC活動など)
 - チーム医療の推進と診療の質の向上
 - 情報システム機能 (院内LAN、院内ホームページ、グループウェア)
 - 医療機器管理
 - 臨床研修機能 (精神科、協力型)
 - 子育て支援
(平成21年度 厚生省均等・両立推進企業、道労働局長賞・奨励賞受賞)
 - 院内暴力

www.goryokai.com

更新受審準備

- 平成20年7月 更新受審準備委員会の設置
- 月1回の委員会開催。
 - ◆ 委員：副院長、看護部長、師長、薬局長、検査室長、PSW主任、医事課長、事務長
- 平成21年6月 更新申請(7月からVer.6.0開始)
- 機能評価の項目確認
- 自己評価の開始 中項目(5段階)、小項目(3段階)
- 各領域の自由記述の作成
- 平成21年10月29-30日 審査

www.goryokai.com

自己評価項目整理

- 項目を分野別担当者を定め分担して入力、コメント記入
- 項目毎の解説をエクセルコメント欄記載、abc評点の指標もコメント欄に記載
- 五稜会バイブル(機能評価項目に沿った書類)の改訂

<p>1 精神科の業務と組織</p> <p>2 患者の受入れ</p> <p>3 入院後の看護</p> <p>4 診療の質の向上</p> <p>5 医療機器管理・情報システム</p> <p>6 人材確保の推進</p> <p>7 研修・教育記録・看護記録管理</p> <p>8 患者生活</p> <p>9 安全管理</p> <p>10 臨床研修</p> <p>11 施設管理</p> <p>12 情報管理</p> <p>13 データ</p> <p>14 情報管理</p> <p>15 関係機関「トップ」</p> <p>16 地域の医療・福祉・社会福祉との連携・協力</p> <p>17 患者の権利・苦情処理</p> <p>18 医療の改善と評価</p> <p>19 施設設備</p> <p>20 施設安全(防災)</p> <p>21 施設の教育・研修・研究</p> <p>22 経営</p> <p>23 施設設備管理</p> <p>24 施設設備</p> <p>25 施設設備の対応</p> <p>26 看護設備</p> <p>27 情報の収集・分析・活用(院内)</p>	<p>1 精神科の業務と組織</p> <p>2 患者の受入れ</p> <p>3 入院後の看護</p> <p>4 診療の質の向上</p> <p>5 医療機器管理・情報システム</p> <p>6 人材確保の推進</p> <p>7 研修・教育記録・看護記録管理</p> <p>8 患者生活</p> <p>9 安全管理</p> <p>10 臨床研修</p> <p>11 施設管理</p> <p>12 情報管理</p> <p>13 データ</p> <p>14 情報管理</p> <p>15 関係機関「トップ」</p> <p>16 地域の医療・福祉・社会福祉との連携・協力</p> <p>17 患者の権利・苦情処理</p> <p>18 医療の改善と評価</p> <p>19 施設設備</p> <p>20 施設安全(防災)</p> <p>21 施設の教育・研修・研究</p> <p>22 経営</p> <p>23 施設設備管理</p> <p>24 施設設備</p> <p>25 施設設備の対応</p> <p>26 看護設備</p> <p>27 情報の収集・分析・活用(院内)</p>
--	--

www.goryokai.com

五稜会バイブルとは

- 五稜会病院内の書類、マニュアルの一元管理
- 平成16年、機能評価ver.4受審時に作成
- 機能評価の自己評価項目に準拠し、部署毎のマニュアルなどを整備
- 院内LANを用い、院内ホームページで(職員であれば)誰でも・何処でも閲覧可能

www.goryokai.com

受審直前準備 受審10月29・30日

- ◆ 10月6・9日 全職員向けの説明会実施
 - 五稜会病院のビジョン、医療機能評価の概要、心構え
- ◆ 10月20日：受審シミュレーション（師長・PSW主任・事務長）
- ◆ 10月22日：各部署直前コアミーティング
- ◆ タイムスケジュール確認
 - 各部署書記係、撮影 担当者を決める
- ◆ 各部署責任者による質問想定集の作成
 - 誰でも一貫した回答ができる様に準備

www.goryokai.com

受審時のポイントとその後の整理

（4名のサバイヤー：医師1名、看護1名、事務2名）

- ◆ 質の維持・改善に向けた努力
- ◆ 臨床倫理への取り組み
- ◆ 多職種協同の作業
- ◆ 診療録記載、禁煙への取り組み

受審後の整理

- ◆ サバイヤーとの応答記録、指摘事項・改善点整理
- ◆ 委員会での反省、スタッフによる受審体験記作成

www.goryokai.com

良かった点

1. 1年間を通じ各担当委員が団結し準備した事で、職員全体の統率力が増した。
2. 全職員への受審説明の場で病院のビジョンを周知し、病院の方針を明確に出来たことで個々の職員が目的をもった業務ができるようになった。
3. 受審の準備作業を通じて職員の能力開発が出来た、今後の病院運営を考える上で貴重な資料となった。

反省点

1. サバイヤーが特に注意している点や重点項目への事前の準備が不十分であった。
2. 診療部、特に医師関連、診療録記載の対応が不足していた。
3. サバイヤーの質問に対して、実施していることの説明が上手に出来ない場面があるなどアピール性に欠けていた。

www.goryokai.com

まとめ

- サバイヤーの評価は保健所監査、精神科病院実地指導とは違った意味で有用。
- 第三者機関が行うため、内部監査ではなかなか指摘出来ないことが明確になる。
- 一連の準備、審査を通じて、職員の一体感が生まれ、職員の能力開発の意味でも有用。
- 最後に、病院機能評価は病院の機能を高めることが主眼である。不備な点を指摘してもらい姿勢が重要であると感じました。